

教 科
教科名(英語)

科目	英語コミュニケーションⅡ	(必修)	授業時数	2 単位
			履修学年	3 学年

目 標	<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができる。 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを複数の文で伝え合うやり取りをしたり、論理性に注意して複数の文で話して伝え合ったりすることができる。 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意してわかりやすく話して伝えることができる。 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して、段落のある文章で書いて伝えることができる。
-----	--

●学習内容

1 学期	20 時間	2 学期	28 時間	3 学期	22 時間
Lesson 4		Lesson 6	12	Lesson 8	9
Vending Machines	10	New Banknotes		Powdered <i>Natto</i> Solves	
Lesson 5		Lesson 7	12	a Global Water Problem	
Design for Connecting Society:	10	Some Secrets about Colors		Lesson 10	13
Braille Neue		Lesson 8	4	To Work or Not to Work?:	
		Powdered <i>Natto</i> Solves		Humans and Robots	
		a Global Water Problem			

教材
Power On English Communication II (東京書籍) フレーズで英単語3000 (浜島書店)

授業の進め方
「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ(前半)」の学習内容を踏まえ、英語で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた総合的な言語活動通して授業を進めていく。各定期試験を通して定着を図る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度	
評価規準	活用できる (できる)	英語の特徴やきまりについて言語材料と言語活動とを効果的に関連付けることを踏まえ、五つの領域別の目標を理解しているとともに、活用できる技術を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて具体的な課題等を設定し、情報を整理しながら考えなどを形成し、論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、統合的な言語活動を通して、表現力の向上を目指し、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
	習得する (わかる)	英語の特徴やきまりについて言語材料と言語活動とを効果的に関連付けることを踏まえ、五つの領域別の目標を理解している。	英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する課題を発見し、情報を整理しながら考えなどを形成し英語で表現する力を身に付けている。	英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、統合的な言語活動を通して、表現力の向上を目指し、自ら学び主体的、自律的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価方法	定期テスト・課題・ノート・授業観察	定期テスト・課題・ノート・授業観察	授業に取り組む姿勢や意欲(論文・レポートなどの自主的な取組も含む)	

単元別 評価規準

Lesson 4 Vending Machines

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	日本と海外の自動販売機について、関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格)などの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、海外のユニークな自動販売機について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。	日本と海外の自動販売機について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞(目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。	日本と海外のユニークな自動販売機について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解している。	日本と海外のユニークな自動販売機について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解しようとしている。

Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、助動詞+受け身, S+V+C[分詞], S+V+O[if節], It seems [appears] +that 節などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ブレイルノイエの利点と活用方法について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブレイルノイエの利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	助動詞+受け身, S+V+C[分詞], S+V+O[if節], It seems [appears] + that 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解している。	ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解しようとしている。

Lesson 6 New Banknotes

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	新紙幣とキャッシュレス社会について、It + is [was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, キャッシュレス社会の長所・短所について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	新紙幣とキャッシュレス社会について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	新紙幣とキャッシュレス社会について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	It + is [was] + said + that 節, 形式目的語 it と that 節, 形式目的語 it と to 不定詞, 助動詞 + have + 過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	新紙幣とキャッシュレス社会の長所・短所について, 聞いたり読んだりして, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉え, 理解している。	新紙幣とキャッシュレス社会の長所・短所について, 聞いたり読んだりして, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉え, 理解しようとしている。

Lesson 7 Some Secrets about Colors

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	色の心理的効果について, 関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞 + 関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	色の心理的効果について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	色の心理的効果について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	関係代名詞 (所有格), 同格を表す接続詞 that, 前置詞 + 関係代名詞, 関係副詞 where の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。	色の心理的効果について, 聞いたり読んだりして, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉え, 理解している。	色の心理的効果について, 聞いたり読んだりして, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉え, 理解しようとしている。

Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、強調構文、強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、納豆パウダーという製品の利点などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	強調構文、強調の助動詞 do, 直前の文を先行詞とする関係代名詞 which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解している。	納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解しようとしている。

Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V[動詞の原形]などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。
	習得する (わかる)	過去完了進行形, be+to不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V[動詞の原形]を用いた文の形・意味・用法を理解している。	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解している。	各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、聞いたり読んだりして、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉え、理解しようとしている。